

平成 1 7 年 度 事 業 報 告

本財団の目的を達成するため、次に掲げる事業を行った。

1 理事会等開催状況

会 議 名	開 催 日	内 容
平成17年度 第1回 通常評議員会	平成17年6月6日 ホテルシーホーク	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度事業報告 平成16年度収支決算 理事の選任 寄附行為の変更
平成17年度 第1回 通常理事会	平成17年6月7日 ホテルニューオータニ博多	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度事業報告 平成16年度収支決算 評議員の選任 寄附行為の変更 副理事長の互選
平成17年度 第1回 臨時評議員会	平成17年12月9日 書面による評議員会	<ul style="list-style-type: none"> 超高压電子顕微鏡フォーラム特別会計の設置及び平成17年度超高压電子顕微鏡フォーラム特別会計収支予算 理事の選任 監事の選任
平成17年度 第1回 臨時理事会	平成17年12月16日 書面による理事会	<ul style="list-style-type: none"> 超高压電子顕微鏡フォーラム特別会計の設置及び平成17年度超高压電子顕微鏡フォーラム特別会計収支予算
平成17年度 第2回 臨時評議員会	平成18年3月22日 書面による評議員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度収支予算の補正 理事の選任
平成17年度 第2回 臨時理事会	平成18年3月23日 書面による理事会	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度収支予算の補正
平成17年度 第2回 通常理事会	平成18年3月31日 ホテルニューオータニ博多	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度事業計画 平成18年度収支予算 評議員の選任 顧問の選任 理事長、副理事長の互選
平成17年度 第2回 通常評議員会	平成18年3月31日 ホテルニューオータニ博多	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度事業計画 平成18年度収支予算 役員を選任

2 事業の概要

(1) 学術研究に関する広報活動事業

① 学術研究都市シンポジウム

九州大学との共催で、「九州大学伊都キャンパス誕生記念フォーラム」を東京で開催した。

テーマ：「新しいアジアと知の拠点」～九州大学学術研究都市が発信する未来～

開催日時：平成17年12月19日(月) 11:00～13:00

開催場所：朝日新聞東京本社新館 浜離宮朝日ホール

来場者数：252名

内容：

(1) 事業紹介 (2) パネルディスカッション

報道等：平成18年1月31日 朝日新聞朝刊に記事広告掲載

東京本社セット版(首都圏約400万部)

西部本社(福岡 約80万部)

② 東京会議の開催

「九州大学学術研究都市構想促進東京会議」を開催し、首都圏のオピニオンリーダーと学研都市に関する意見交換を行った。

開催日時：平成18年1月12日(火)

開催場所：赤坂プリンスホテル

参加人員：20名(東京会議委員10名、地元代表者10名)

その他：会議開催に先立ち、事前に会議メンバーを訪問し、機構の活動状況を報告した。(12名)

③ 推進協議会による国要望活動

8月25日に、九経連と共同で、国の機関(3省11課)を訪問し、学研都市づくりに対する協力要請を行った。

④ 第一期開校関連広報活動

i 「九大・学研都市フェア」

開催期間：平成17年9月13日～9月19日

開催場所：西鉄ソラリアプラザ1階「ゼファ」

来場者数：約35万人

報道等：期間前後に各紙に掲載された他、機構ホームページでフェアの展示・イベントを公開

ii 「九州大学伊都キャンパス誕生年2005」

- ・ 今宿「まつり横町」を皮切りに、うちわや絵はがきの配布、横断幕掲出を実施
- ・ 「ビルエモット氏講演会・シンポジウム」で学研都市パネル展示(10/5)
- ・ アートINすせんじ街ごと美術館に九大・学研都市コーナー設置(10/21～11/1)
- ・ サイエンスワールド（イムズビル）に学研都市コーナー設置（11/5・6）

⑤九州大学の情報発信拠点「ビッグオレンジ」への共同参画

九州大学伊都キャンパスにおける情報発信拠点「ビッグオレンジ」にプラズマディスプレイを設置し、学術研究都市構想や推進機構の取り組みを紹介した。

⑥その他の広報活動

i 学研都市将来像のイメージイラスト作成（8月完成）

- ・ 機構のロゴマークを作成
- ・ 機構の業務案内パンフレット作成
- ・ 学研都市構想パンフレット作成

ii ホームページの公開

財団のホームページをリニューアルし(5/10)、学術研究都市や九州大学伊都キャンパス、財団業務に関する事業概要や最新情報の発信を行った。

iii 機構ニュース「OPACKめーる」の発行

財団の業務や学術研究都市に関する情報提供のため、リニューアルした機構ニュース「OPACKめーる」を定期的（年4回）発行した。

発行時期：年4回（7月、11月、1月、4月）

発行部数：各号2000部

iv 学研都市構想についての講話、説明

7/15 福岡南ロータリークラブ

7/29 玄海フォーラム

(2) 産学官の共同研究による研究開発支援事業

① ICカード関連（「生活・ビジネスインフラ構築実験」他数件）

国のプロジェクトに採択された実証実験に関し、WGを8グループ設置し、調査・検討を行った。

② 金属加工技術関連（「先端材料実用化センター調査」）

九州大学の先生方との協議や検討等を実施した。

③ 航空宇宙産業の誘致可能性調査

航空宇宙産業の共同研究による企業誘致を図るため、航空産業の誘致可能性の調査を行った。

④共同研究・研究開発支援等実施の可能性に関する調査

九州大学と企業の産学共同研究プロジェクトの立ち上げに向けた可能性に関する調査を実施した。

i 水素キャンパス関連

「福岡水素エネルギー戦略会議」（事務局：福岡県）と連携

ii ナノテクノロジー関連

未来化学創造センターと連携

iii バイオテクノロジー関連

バイオアーキテクチャーセンターと連携

iv ICカード関連

(2) ①に記載

⑤その他

i 九大との連携

知的財産本部の定例情報交換に参加

ii 有力シーズの発掘のため、九大の先生方のシーズシート（32枚）を作成し、HPに記載した。（継続中）

iii 福岡ビジネス協議会との連携（情報交換）

地場中小企業からの展開を目的として入会。定期的に情報交換を行った。
平成18年度5月に、協議会の会員企業による学研都市の見学会を実施。

(3) 研究機関等の立地支援事業

①企業訪問

福岡県内の大企業の支店支社を中心に情報交換（延約160社）

H18年度は、これに加えて東京本社、地場企業に対しても訪問する予定。

②セミナーの開催

学術研究都市への企業・研究施設の立地促進に向け、東京及び地元（福岡）において福岡県及び九州大学などと協力し開催した。

i 「九州大学バイオアーキテクチャーセンター開所記念シンポジウム」

テーマ：「生物生産に向けたバイオデザイン研究の新しい潮流」

場 所：産業技術研究所 臨海副都心センター バイオ・IT融合研究棟

日 時：平成17年8月26日(木) 13:00～18:00

参加者：76名

ii 「福岡県企業セミナーIN東京」（福岡県と共催）

テーマ：「半導体・FPD産業の最新動向と福岡県の取組」

「水素利用技術の世界的研究開発拠点を目指して」

場 所：赤坂プリンスホテル

日 時：平成17年11月28日(月) 15:00～17:00

参加者：132社 183名

iii 「超高压電子顕微鏡フォーラム」

テーマ：「会員制運用のオープニングセミナー」

場 所：ホテルレガロ福岡

日 時：平成17年12月9日（金） 14:00～16:00

参加者：90名

iv 「第1回未来化学創造センターシンポジウム」（九州大学、福岡市と共催）

テーマ：「水・光・ナノテク・バイオが拓く未来化学～環境から産業まで～」

場 所：東京ガーデンパレス

日 時：平成18年2月1日（水）

参加者：330名

v その他

- ・2/14「北部九州自動車100万台推進会議」（東京）でパンフ等展示

③産学連携施設等の立地誘導に関する調査

i 産学連携交流センター

福岡市が主体で建設する「産学連携交流センター（仮称）」に関する必要性や需要等について調査委託を行った。また、併せて、入居可能性のある企業について、訪問活動を行った。

ii 次世代スーパーコンピューターの誘致

次世代スーパーコンピューターについて四つのワーキンググループを設置し調査・検討を行いながら、誘致活動を行うとともに、立地可能性について調査委託を実施した。

④ほたる開発調査・都市形成調査

i 分散型地域核「ほたる」の開発調査

- ・（仮称）前原北部まちづくり事業に関するミーティングへの参加
- ・糸島地区学術研究都市推進計画策定WGへの参加

ii 立地支援のパンフレット作成

iii 構想イメージパンフ及びプロモーションビデオの企画

⑤その他誘致に関する活動

財団業務や学術研究都市に関する企業の理解促進のため次の活動を行った。

i 企業誘致マップの作成

ii 新聞広告

- ・読売新聞（9/24）
- ・西日本新聞（10/25）

(4) 産学連携交流支援事業

① シーズ・ニーズ調査

- i US I と連携してシーズのデータベース作成
- ii シーズシートのホームページ掲載検討（平成 18 年度掲載）
- iii 企業ニーズアンケート（131 社配布 45 社集計）

② 「超高圧電子顕微鏡」の会員制運用の開始

超高圧電子顕微鏡（9 台）の企業の使用に際し、その使い方の研修を含めた会員制の運用を機構が事務局となって行うもの。

会員制運用の開始に先立ち、パンフレットやポスターを作成し、12 月 9 日に福岡にてオープニングセミナーを開催した。

運用開始後、会員入会の勧誘を積極的に行ったが、年度途中であったことから、入会実績はなかった。

③ 福岡ナノテク NOW 2005

7 月 19 日。パネル展示を行った。

④ 福岡水素エネルギー会議近未来展

12 月 19 日～21 日。パネル展示を行った。